

# 定型句と語彙バンドル-講義

## 1 導入

この講義の核心は、自然な英語は単語を1個ずつ選んで組み立てるだけでは作れず、文脈ごとに繰り返し現れる塊を保持することで安定する、という点にある。Ch3のCollocation基礎では語どうしの結合を見たが、Ch8ではそれをもう1段上の単位、すなわちlexical bundlesと定型句として扱う。

## 2 中心課題

なぜto give you the conclusion first、in light of、it is difficult to、there is a possibility thatのような塊を持っていると、英訳が急に自然になるのか。なぜ意味が近い単語を並べても、塊として定着していないと不自然になりやすいのか。

## 3 用語

- 定型句: 場面ごとに反復して使われる表現の塊
- 語彙バンドル: 英語で高頻度に連続して現れる語列
- 自然化リライト: 意味を保ちながら、日本語発想の文を英語の定着した塊へ置換すること

## 4 方針

- 意味を1語ずつ写すのではなく、文脈に合う塊を探す
- 定型句は文体ごとに分けて記憶する
- 塊を使うときも、主節と情報配置が崩れていないかを確認する

## 5 直感的な説明

日本語から英訳するとき、「結論から言うと」「～を踏まえると」「そのまま一般化するのは難しい」のような塊は頻出する。これを毎回1語ずつ組み立てると、不自然な直訳へ流れやすい。

### Display

事務

To give you the conclusion first, ...

説明 / 学術

In light of ...

It is difficult to …

There is a possibility that …

自然さは、単語の難易度ではなく、その塊がその場面で普通に使われるかどうかで決まる。

## 6 厳密な説明

### 6.1 1. Collocation より一段大きい単位として把握する

Ch3のCollocationはfocus onやhave good reviewsのような結合を扱った。Ch8のlexical bundlesは、それよりも大きい単位で、文全体の出だしや論理関係まで支える。

機能	定型句	使い所
結論先出し	To give you the conclusion first,	事務・相談
背景化	In light of … / Given …	説明文・学術
慎重化	There is a possibility that …	学術・報告
評価の外置	It is difficult to …	説明文・論説

### 6.2 2. 文体ごとに好まれる塊が違う

会話では短く反応的な塊が好まれ、事務では手続きを前へ出す塊が好まれる。学術では、主張を弱めたり背景を明示したりする塊が重要になる。

### 6.3 3. 自然化リライトは塊の置換で考える

日本語発想の文を自然化するとき、単語1個の置換では限界がある。thinking to cancelをthinking of passing on itへ変えるときも、直しているのは1語ではなく塊である。

## 7 最小の具体例

### 7.1 例 1: 結論先出し

**Incorrect**

First I say the conclusion, we are thinking to cancel it this time.

**Correct**

To give you the conclusion first, we are thinking of passing on it this time.

前半の塊と後半の塊の両方を置換しているため、自然さが上がる。

## 7.2 例 2: 背景化

### Incorrect

Thinking the comments in the meeting, this plan needs revision.

### Correct

In light of the comments made at the meeting, this plan needs to be revised.

日本語の「～を踏まえると」を毎回組み立てるのではなく、背景化の定型句として保持する。

## 8 別の見方

### 8.1 型として記憶する観点

定型句は暗記負担が大きいように思われやすいが、実際には場面ごとの型として保持するほうが生産的である。

### 8.2 編集単位として把握する観点

自然化リライトでは、単語でなく塊を編集単位として把握すると、修正の方向が明確になる。

## 9 見分け方

- 意味は出ているのに出だしや論理接続が不自然なときは lexical bundles を疑う
- 同じ修正を何度も繰り返すなら、単語でなく塊で覚える
- 学術や事務で主張が強すぎるときは、慎重化の定型句を探す

## 10 どこまで成り立つか

この講義は学習用の標準的な塊に絞っている。創作的な文体や個人差の強い言い回しまでは扱わない。

## 11 最終形

### Display

自然化リライトの基本

意味を固定する

→ 場面を決める

→ 定型句 / lexical bundle を選ぶ

→ 主節と情報配置を整える

## 12 一言でいうと

定型句と語彙バンドルは、自然な英語を速く組み立てるための再利用可能な意味ブロックである。

## 13 関連リンク

→ 講義 コロケーション基礎 [lecture](#) [english](#) [collocation](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/english/collocation/コロケーション基礎-講義/>

→ 定石集 学術コロケーション定石 [reference](#) [english](#) [collocations](#)  
<https://study.bem130.com/reference/english/collocations/学術コロケーション定石-定石集/>

→ 問題演習 自然化リライト [exercise](#) [english](#) [collocation](#)  
<https://study.bem130.com/exercise/english/collocation/自然化リライト-問題演習/>

→ 講義 レジスターの基本 [lecture](#) [english](#) [register](#)  
<https://study.bem130.com/lecture/english/register/レジスターの基本-講義/>